

くっさぐだいわ

平成30年7月豪雨

松江赤十字病院の動き

平成30年6月28日から7月8日頃にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号

および梅雨前線などの影響により発災した「平成30年7月豪雨」。当院では発災直後からDMAT（災害派遣医療チーム）が初動対応し、島根県DMAT調整本部で運営を担当しました。

7月9日からは岡山県倉敷市に救護班第1班を派遣（23日まで）。また8月21日からは、このころのケア要員を広島県呉市に派遣（26日まで）しました。

【救護班第1班 医師 石川 総一郎】

医師・看護師・薬剤師・主事及び日赤島根県支部調整員の計8名で、倉敷市水島地区や玉島地区に設けられた複数の避難所での巡回診療および環境指導などを行いました。

災害発生からあまり時間がたっていないにもかかわらず、倉敷市職員の方々と地域のボランティアの方々の力により各避難所が自律的に運営され、全国からの支援物資が届けられている様子が非常に感銘を受けました。また、地域の医療機関の方々も積極的にボランティアとして巡回診療などを行われており、協力して被災者の方々の診療や避難所を運営する方々のサポートなどを行いました。避難所は非常に暑く厳しい状況でしたが、エアコンが設置されるようになり徐々に環境は改善されていました。

しかし、悲観的になり診療を拒否される高齢者の方や、将来に不安を抱え医療費を少なくしようとして受診を制限される方もおられるなど、精神的なケアの必要性を痛感しました。

今回の活動では、各種環境が整っていたこともあり、医療的なケア以外にも災害初期からのメンタルケアの必要性を強く考えさせられました。

【救護班第2班 看護師長 湯原 幸子】

医師・看護師・薬剤師・主事及び日赤島根県支部調整員の計8名で、被災地である安芸郡坂町に赴きました。発災から2週間経過しているということで、私たちの派遣地である坂町小屋浦地区の避難所は、電気、水道のライフラインが開通しており、小屋浦小学校の保健室に開設された救護所は、冷房も効いていて快適さすら感じました。トイレも学校内の水洗トイレが使用でき、ある意味恵まれた環境下での救護活動となりました。

救護所には連日40名弱の受診者がいましたが、片付け作業中でのちょっとした外傷や、粉塵の影響か、気管支系の症状の方、また、皮膚障害、胃腸障害、熱中症等々重症には至りませんが様々な訴えでの来所がありました。

私たちが派遣された時期は、医療救護ニーズも終息に向かう時期でしたが、復興への道のりは長く、今後も心のケアを始めとしたさまざまな災害支援活動の必要性、またそれぞれの支援団体の連携、協働の必要性を強く感じています。

日本赤十字社島根県支部取扱災害義援金の状況 (平成30年9月28日現在)

●平成30年7月豪雨 災害義援金 (被災府県全域へ) 4329万844円	●平成30年7月豪雨 島根県災害義援金 (島根県内の被災者へ) 1億1689万2358円※
---	--

※日赤本社が受付をした島根県への義援金(9836万3132円)を含む
※島根県災害義援金は平成30年9月28日で受付終了



診療科紹介

Clinical Department

形成外科

「形成外科」は日本においては学会設立が1958年と戦後に登場した比較的新しい診療科です。聞きなれない方もいらっしゃるかと思いますが、当院は1982年に山陰初の形成外科として開設されました。診療範囲はやけど、顔面・手足の先天異常やけが、体幹部の先天性疾患、良性のできもの、皮膚がん、けがなどによる皮膚の異常、とこすれや各部の治りにくい傷、眼瞼下垂などの後天性の変形、蜂窩織炎などの皮膚感染性疾患など全身にわたります。どこに相談したらよいかわからない傷や変形、きずあとでお悩みの方は、一度ご相談いただければと思います。



近年、高齢化および糖尿病の増加により足の傷に対する治療に注目が集まり、当院でも循環器内科、心臓血管外科と連携し、できる限り大切断（下腿、大腿での切断）を回避した治療を目指しております。以前は大切断が避けられなかった患者さんも血行再建により、大切断を行わずに治療できる症例も増えております。しかし、血行再建はすべての症例に行える治療ではなく、早期発見・早期治療が重要です。冷たい、しびれがある、歩行するとだるくなる、動かないときも痛みがあるなどの症状がありましたら、血行障害の可能性があるのでご相談ください。また、リンパ浮腫といわれる腕や足のむくみの治療も行っております。がん治療に伴い生じるむくみだけでなく、特異性といわれる誘因のないむくみが生じる場合があります。基本的にはマッサージやストッキングなどリハビリでの対応となりますが、それではコントロールが難しい場合にはリンパ管静脈吻合という手術を行います。腕や足の0.5mm程度のリンパ管と静脈をつなぎ、滞ったリンパ液を静脈に流す手術です。時間がたてばたつほどリンパ液の流れは悪くなるため、早期からの手術が効果的と思われます。

最新治療としては、広範囲のほくろに対して培養表皮を用いた治療がありま

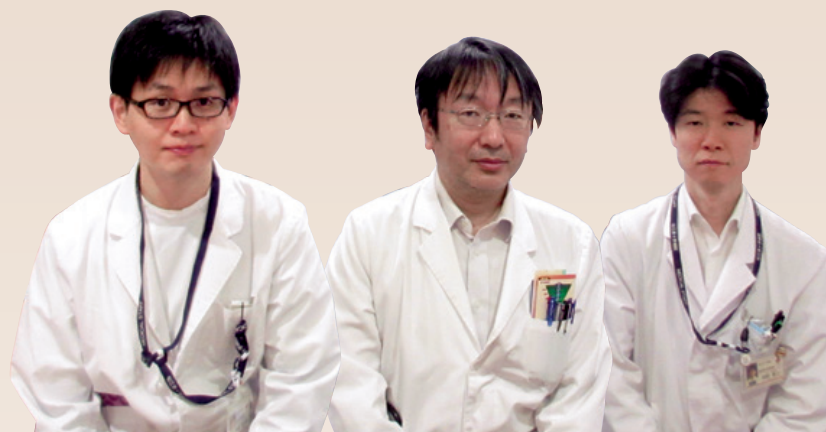


診療科紹介

Clinical Department

血液内科

当科は松江圏域で唯一の血液疾患専門医療施設となっており、急性白血病、慢性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などのいわゆる血液造血管腫瘍に加えて、再生不良性貧血や特異性血小板減少性紫斑病、血液凝固異常など幅広く診療を行っています。



血液悪性腫瘍は進行が早く急激な症状変化を呈することが多いため、それに対応すべく迅速な対応が求められ、

少ないスタッフのなかで協力して診療体制を組んでいます。

これらの疾患に対しては基本的にいわゆる抗がん剤による化学療法が主になります。他の癌腫への抗がん剤治療に比較して効果が期待しやすい反面、症状変化が早いいため治療がどれだけ安全にタイムリーに完遂できるかが重要です。満床のことが多いなかでも治療が遅れないように病床管理にも気を配っています。

また、化学療法を安全に進めていくためには感染症の合併を防ぐためのセルフケアも重要です。患者教育も並行して行つて、正しい理解を深めながら治療を進めていけるように考えています。化学療法は通常入院で開始し、病状などの状態しだい外来化学療法に移行できる方はしています。当院では外来化学療法室も専属ナースをはじめ充実しておりますので、安心して受けていただけるものと考えています。

さらに通常の化学療法で治療の困難な方には自家末梢血幹細胞移植や同種造血細胞移植も行っており治療成績の向上に努めています。

また再生不良性貧血や特異性血小板減少性紫斑病などいわゆる悪性疾患

ではないものの、難病指定を受けている慢性疾患も多く、年余にわたる通院加療が必要であり、外来でのフォローの充実にも心がけています。ほとんどの方に血液検査が必要でしかも迅速な結果が求められており、可能な限り即日の検査結果をもとに治療薬のコントロールなど行っております。

いずれの疾患も日進月歩の分野であり、時代に即した適切な治療を安心してお届けできるよう、医師、看護師のみならず、薬剤師、検査技師、リハビリ療法士、栄養士など多職種力をあわせてがんばっております。



病院まつりを開催しました！

9月22日に「病院まつり」を開催しました。これは普段病院を利用されたことのない方にも当院の医療を知ってもらおうと、新病院完成を機に毎年開催しているイベントであり、今年で5回目を迎えます。

朝10時のオープニング前から病院まつりを心待ちにされていた方々が各種イベントブース前に並び始められる姿が。毎年大好評の手術室見学ツアーや医師体験、ヘリポート見学だけでなく、肺機能・血管年齢測定や調剤体験、看護体験などすべてのイベントブースに、終了

間際までものすごい人だかりができていました。あまりの来場者数に、各種イベントでお渡しする体験記念品が足りなくなる一幕も。

公開空地のメインイベントは、病院なのになまさかのプロレス！「だんだんプロレス」の皆さんにお越しいただき大盛り上がりでした。

来場者アンケートでも皆様にご好評をいただき、来年に向けて大変励みになりました。当日は過去最高の約1000名の方にご来場いただきました。ありがとうございました。



introduce

8~10月 採用医師紹介

Hello Doctors



循環器内科 春木 伸彦

大学卒業後、大阪、姫路、北九州で研鑽を積み、二十数年ぶりに生まれ育った松江に戻ってきました。今までの経験を活かして地域医療に貢献できるよう頑張ります。



消化器外科 井上 圭亮

10月より松江赤十字病院で勤務させていただいている井上圭亮と申します。外科的治療を必要とする患者さんのお役に立てるように頑張ります。



整形外科 田中 直美

地域の皆様のお役に立てるように精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



形成外科 永瀬 久仁

まだまだ未熟ですが、少しでもお役に立てるよう日々の診療に当たりたいと思います。



形成外科 渡部 雅子

形成外科の渡部雅子と申します。分かりやすい説明を心がけていきます。よろしくお願いいたします。

平成30年度 後期

外来糖尿病教室

※毎回予約制 ※糖尿病手帳をお持ちの方はご持参下さい。
申込・問い合わせ先…担当保健師 吉岡 TEL(0852) 24-2111(代)



糖尿病と動脈硬化

- ★糖尿病があると早く老化する?…糖尿病・内分泌内科 垣羽 寿昭
- ★知って得する! 献立を立てるときのヒント 管理栄養士 赤名奈緒子
- ★糖尿病療養指導士からのアドバイス……………理学療法士
- ★糖尿病……………すこやか会会員

【食事会】“見た目も満足! 食物繊維たっぷりメニュー”



調理実習 (要予約) *1回10名まで

- ★身近な材料がヘルシーおせちに変身!
- ……………管理栄養士 今岡麻奈美

*同じ内容で2日間行います。
どちらかご都合のいい日を予約して下さい。



糖尿病治療に関する最近の話題

- ★糖尿病治療薬 最新情報……………糖尿病・内分泌内科 垣羽 寿昭
- ★食事療法の基本と最近の話題……………管理栄養士 引野 義之
- ★糖尿病療養指導士からのアドバイス……………薬剤師
- ★糖尿病……………すこやか会会員

【食事会】“春の彩り満載メニュー”

健康医学講座

受付開始時間/13:30~
講演時間/14:00~15:30
場所/本館6階 講堂

(受講は事前にお申込みください)

申込・問い合わせ先…
医療社会事業課 TEL(0852) 24-2111(代)

受講料
無料

11月30日金 年齢にあわせた 「口のケア」と「歯の治療」

【講師】歯科・口腔外科部長 田窪 千子
歯科衛生士 米田 真弓

12月12日水 (最新) 放射線検査・ 治療のお話

【講師】放射線科 一般撮影課長 古川 春美



■病院理念…… わたしたちは、「人道・博愛」の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■基本方針……

- ① 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- ② 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、一貫した医療を行います。
- ③ 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- ④ 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- ⑤ 教育病院として次世代の医療人を育てます。

松江赤十字病院『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ① 自分の健康に関する正しい情報の提供
- ② 医療への積極的な参加
- ③ 病院の規則を守ること
- ④ 研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力